

**製品名: PKA II $\beta$  reg (リン酸化 Ser113) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05251**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	46kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PRKAR2B
別名	PRKAR2B; cAMP-dependent protein kinase type II-beta regulatory subunit
遺伝子 ID	5577.0
SwissProt ID	P31323
免疫原	抗血清は、ヒト PKA-R2 ベータの Ser113 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 79-128

**背景**

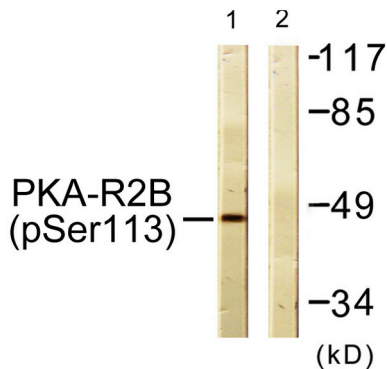
cAMP は、様々な細胞機能にとって重要なシグナル伝達分子です。cAMP は、cAMP 依存性プロテインキナーゼを活性化することで

その効果を発揮し、このキナーゼは様々な標的タンパク質のリン酸化を介してシグナルを伝達します。不活性型キナーゼのホロ酵素は、2つの調節サブユニットと2つの触媒サブユニットからなる四量体です。cAMPは、不活性型ホロ酵素を4つのcAMPに結合した調節サブユニットと2つの遊離単量体触媒サブユニットからなる二量体に解離させます。ヒトでは、4つの異なる調節サブユニットと3つの触媒サブユニットが同定されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、調節サブユニットの1つです。このサブユニットは、活性化された触媒サブユニットによってリン酸化される可能性があります。このサブユニットは、活性化においてcAMP応答配列結合タンパク質1 (CREB1) と相互作用し、その転写活性を抑制することが示されています。機能: II型調節鎖は、MAP2キナーゼなどのアンカータンパク質に結合して膜結合を媒介します。PTM: 活性化触媒鎖によってリン酸化されます。類似性: cAMP依存性キナーゼ調節鎖ファミリーに属します。類似性: 2つの環状ヌクレオチド結合ドメインを含みます。サブユニット: 不活性型の酵素は、2つの調節鎖と2つの触媒鎖で構成されています。cAMPによる活性化により、2つの活性触媒モノマーと、4つのcAMP分子に結合する調節二量体が生成されます。組織特異性: I- $\alpha$ 、I- $\beta$ 、II- $\alpha$ 、II- $\beta$ の4種類の調節鎖が存在します。これらの発現は組織によって異なり、恒常的である場合もあれば、誘導性である場合もあります。

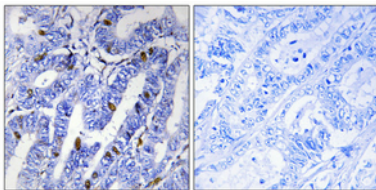
## 研究分野

アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;インスリン受容体;

## 画像データ



PMA 125 ng/ml 30分処理したCOS7細胞ライセートのPKA-R2 beta (リン酸化Ser113)抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。抗体は1:100 (4°C、一晚)に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリスEDTA (pH8.0)を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右)は、免疫原ペプチドで前処理した。